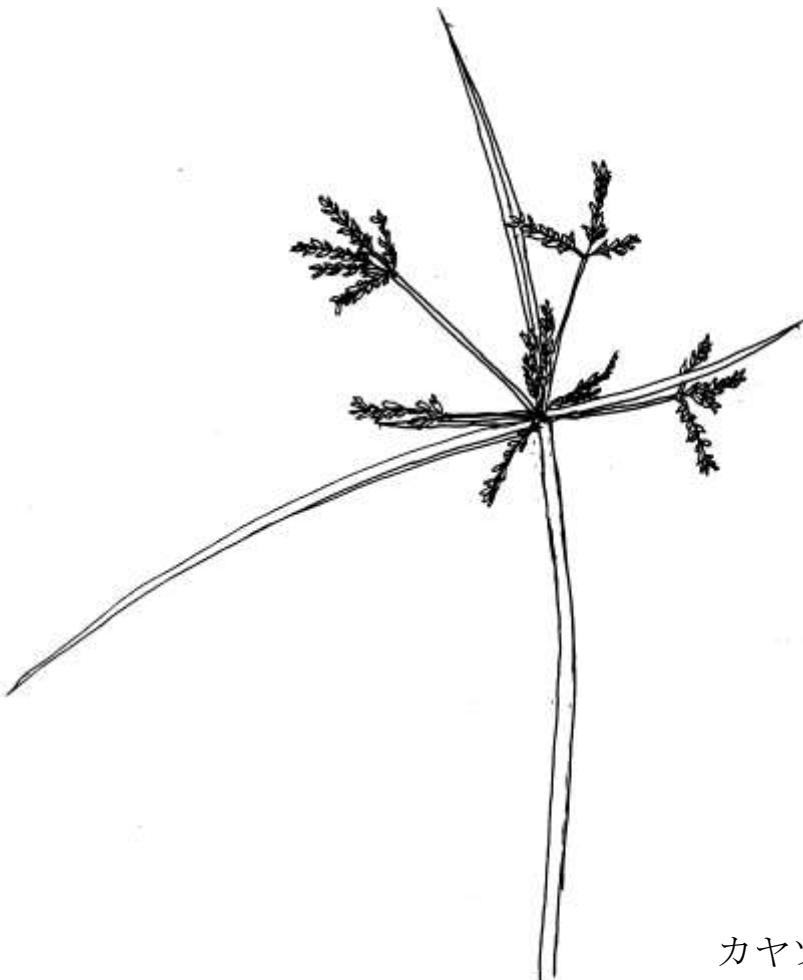


花ちゃん、オー君、モンタ博士、フルタ博士のかくかく博士に挙立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成29年9月12日 NO.44 (444)



カヤツリグサ

オー君 「あれあれ？ これは何だ。緑色をしているから植物みたいだけど…。」

花ちゃん 「そうね、花びらもないし、おしべもめしへもはっきりしていないね。」

モンタ博士 「これはね、カヤツリグサというのさ。」

オー君 「カヤツリ…。」

花ちゃん 「グサ…。あまり聞かない名前ですね。」

モンタ博士 「そうだね。カヤツリの『かや』とは漢字で『蚊帳』と書くんだよ。」

花ちゃん 「そもそも、その『蚊帳』とは何なんですか。初めて聞く言葉です。」

モンタ博士 「そうだろうね。蚊帳というのは、夏の夜、蚊にさされないように部屋の四つ

の隅からつるして寝床をおおうものだよ。昔、殺虫剤や網戸などがなかった頃にはあったものだったのさ。」

オー君 「まだよくわかりませんが・・・。」

モンタ博士 「そうだ！ジブリアニメの『となりのトトロ』

を見たことがあるだろう。その中で、

ふと夜中に目を覚ました『さつき』が

庭で飛びはねるトトロを発見する場面

に登場するのが『蚊帳』だよ。」

花ちゃん 「そういう場面ありましたね。」

モンタ博士 「右のイラストのようなものなんだよ。」

オー君 「なーるほど。そういうものですか。

つまり、おうちの中にテントをはるみたいなものですね。

それで、この『蚊帳』というものと、カヤツリグサとどういう関係があるのですか。」

モンタ博士 「そうだね。その前に、このカヤツリグサというのを見て何か気がつくことはないかな。手でさわって見てごらん。茎はどうなっているかな。」

オー君 「どれどれ・・・。あれ？茎が三角形をしているよ。」

花ちゃん 「そんな植物があるの？・・・あ！本当だ。茎が三角形だ。これは大発見だわ。」

モンタ博士 「そのとおり。茎が三角形だろう。ふつうの植物を見てごらん。だいたいが丸い茎になっているはずだよ。ただし、シソ科の植物というのは、茎が四角形になっているんだ。カヤツリグサの仲間は茎が全部三角形なんだ。それだから、『蚊帳つり』と関係があるんだけど、それは、また明日のお楽しみ。」

夏の風物詩・・・蚊帳

昔、日本の夏の夜の風景と言えば、蚊帳が思い出されますが、蚊帳は夏の定番として多くの人から愛され利用されてきた。今ではどのご家庭にも網戸があり、虫や蚊の侵入はほとんどないが、昔は、虫よけに蚊帳は無くてはならない存在であった。最近では、各種アレルギーにより、蚊取り線香や殺虫剤が使えない方や、冷房に頼らない省エネ、エコロジーな暮らしのために蚊帳が見直されてきていると言われ、使う方も少しずつ増えてきているようである。また、蚊帳は、冷房や扇風機の風をほどよく和らげてくれるので、心地よく眠ることが出来ると使われる方もいるようだ。日本の気候に合わせ、様々な工夫をし、先人達の知恵が作り上げた蚊帳。現代の便利で快適と言われる生活を、今一度よく考え、昔の物も生かして使ってみるのもよいことだろう。ある諺に「雷が鳴ったら蚊帳の中」と有り。

